

賞 道社会貢献賞

22年度建設雇用改善優良事業所

高瀬工業など4社

道経済部は、2022年度北海道社会貢献賞の建設雇用改善優良事業所

に高瀬工業（本社・美幌、中銭鉄筋工業（同・札幌）、玉川組（同・恵

庭、宮田建設同・美幌）を選定した。表彰式は15日から20日にかけて行

道社会貢献賞を伝達

積極的な取組たたえる

雇用改善優良事業所の高瀬工業

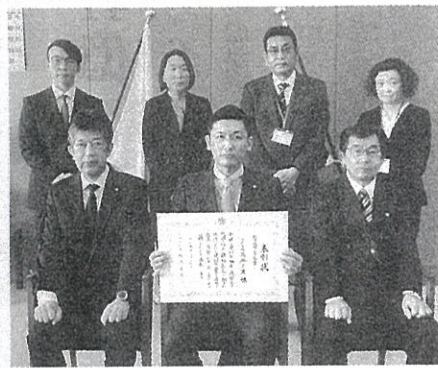
空知総振局

【岩見沢発】空知総合振興局は15日、空知合同庁舎で2022年度道社会貢献賞における建設雇用改善優良事業所の表彰状伝達式を執り行った。白石俊哉局長が、受賞した(株)高瀬工業(美幌)の高瀬健秀社長に表彰状を授与。功績をたたえるとともに、今後のさらなる活躍に期待を寄せた。

建設雇用改善優良事業所の表彰は、労働者の雇用改善や通年雇用化の推進を目的とし、環境整備の取組で

積極的に雇用し、働きやすい環境づくりに努めている。通年雇用化の推進に関しては、過去1年間に採用した建設労働者の定着が良好で、勤続年数20年以上の永年勤続社員が多数在籍して

いる。さらに、ICTを活用した建設機械の導入によって、省力化・生産性の向上を図るなど働き方改革を推進している。伝達式では、白石局長が高瀬社長に表彰状と記念品を贈呈。高瀬社長は「取組を通して雇用を促進していきたい」と意欲を示した。



前列左から白石局長、高瀬社長、蔵田常務取締役

う。建設労働者の雇用改善や季節労働者の通年雇用化に取り組み中小建設会社をたたえる制度。振興局によっては総合評価方式で加点を受けられる。22年度の受賞4社はいずれも通年雇用化を推進。高瀬工業は資格取得の費用負担や独自の評価制度を定め、有資格者に報奨金や手当を支給している。

負担。保健制度や退職金制度の充実にも努めている。玉川組は週休制による所定休日が2日付与されているほか、退職金制度

を充実。宮田建設は資格取得支援や保険制度の充実。勤怠管理ソフトを導入して労働時間の管理に努めている。高瀬工業は15日午前11

時から空知総合局、宮田建設は16日午後2時から同社執務室、中銭鉄筋工業と玉川組は石狩振興局で表彰状が贈られる。

雇用改善の高瀬工業

道社会貢献賞を受賞

【岩見沢】美幌市の建設業、高瀬工業（高瀬健秀社長、30人）が「建設雇用改善優良事業所」として本年度の北海道社会貢献賞に選ばれ、15日に空知総合振興局で白石俊哉局長から表彰状が贈られた。

同社は、社員住宅の建設や休憩所などの整備を行ってきたほか、女性運転手や障がい者、高齢者ら多様な働き手を積極的に採用し、働きやすい環境づくりに注力。ICTの活用で働き方改革にも取り組んでいる。

また、大型自動車運転免許など各種資格取得の費用を会社側で負担。独自の評価制度を設け、有資格者には報奨金や手当を支給している。建設労働者の通年雇用化にも積極的に取り組み、定着率も良好という。



白石局長（左）から表彰状を贈られた高瀬社長

表彰式で高瀬社長は「受賞はとも光栄。今後も雇用を促進し、定着率をさらに向上させたい」と今後も雇用改善に取り組み考えを強調。白石局長は「先進的な取り組みで他社の模範になって」と期待した。【末永直樹】

美唄発 まち人

美唄市内の建設会社、高瀬工業の3代目社長。働き手不足の解消に向けて労働環境整備や福利厚生充実を進め、本年度の道社会貢献賞（建設雇用改善優良事業所）に選ばれた。「大変光栄なこと。取り組みが認



建設雇用改善で道社会貢献賞

たかせ 高瀬

けんしゅう 健秀さん(40)

められうれしい」と喜ぶ。同市出身。2011年に入社し、20年に父の跡を継いで社長に就任した。「建設業はどことも人手不足。すぐ辞めてしまう若手も多い」

と危機感を抱き、雇用改善に着手。社宅建設や全従業員への社有車貸与、子供のいる社員への家族手当の支給拡大などを実施した。現在の社員は30人。昨春

には7人が入社し、職場定着も良好という。「労働環境が改善されれば仕事の質も上がる。引き続き社員が働きやすくなる取り組みを進めたい」 (横田望)